

《課題分類》

村上市

		行政で取り組むこと		社協で取り組むこと		住民ができること	
		短期	中長期	短期	中長期	短期	中長期
1	つかむ	総合的な窓口	多分野事業との連携 アウトリーチによるニーズキャッチ	ニーズキャッチ 関係機関との連携	総合相談窓口	住民同士の情報共有 住民同士がお互いに課題に気づきあう 民生委員へつなぐ	
2	伝える	住民への情報発信・啓発（社会的弱者への） 正しく分かりやすく伝える オレンジリングの普及 介護保険制度の周知・情報提供	障害者の理解を深める啓発 意識啓発のための継続的な情報発信	情報発信（ハッピーボランティアなど社協事業のPRも含め） 相談しやすい体制づくり	マスコットキャラや標語の公募など 住民がキャッチしやすい情報発信	困っている人への情報提供など、住民同士で情報を伝え合う 相談ごとや課題を関係機関へつなげる 地域の一員としての意識を高める 認知症や障がいのある方への偏見をなくす	住民の意識改革
3	交わる		子どもたちへの福祉学習の推進 NPO・他団体と情報共有	地域の茶の間や多世代交流、障がい者の居場所づくり等、既存事業の強化 福祉教育の推進（小学校や地域と施設との交流） 民生委員・区長と施設との交流支援	新たな、住民が交流できる、交流しやすい場づくり	近隣同士のあいさつや声掛け 地域行事への積極的な参加 既存の助け合いを広める	地域のつながりを強化 自由に集える場づくり
4	つながる	縦割り行政の意識改革 情報の共有化	他機関（各種団体）との連携強化	高齢・障がい・子育て等、同業種間の連携づくり 行政と民間の連携 社協内部での横のつながり 民生委員・区長との連携 講座開設や講師の派遣 情報の共有	高齢・障がい・子育て等、他機関同士の横断的な連携づくり ネットワークや情報共有のしくみづくり 空家利用の検討	顔の見える関係づくり 協働の理解を高める アイデアを出し合う 地縁はあるが逆に頼みづらい	

5	支える	乗り合いバスの利用目的の拡大 移動手段の支援（運転免許返納時の温泉券をタクシー券にするなど） 認知症患者の対策（GPS等の助成） 福祉サービスの充足	公共交通機関の拡充 子育て環境（保育園・公園等）の拡充 福祉人材の確保 リハビリ系施設や専門職の拡充 若年性認知症の受け皿などの拡充 配食サービスの拡充	買い物や通院等のための移動支援の強化 福祉人材（ボランティアや地域のために動く人など）の発掘・育成 福祉人材（介護職など）の発掘・育成 生活困窮者への支援強化	一手間の助け合い 福祉協力員（仮）の委嘱	住民同士の声掛け・見守りを強化 居場所づくり ボランティア等への積極的な参加 自助機能の維持	住民同士の助け合いのしくみづくり 区長等による支援の呼びかけ強化 誰もが地域の資源となる意識をもつ
6	護る		冬期間の生活環境の整備 各制度を使いやすく利用できるような工夫 居住地による外出支援サービスの不公平感解消	当事者理解を進める福祉教育の推進 障がい等の専門職と連携した就労支援 困りごとの相談窓口機能		認知症・障がい者等の理解を深める 家族への介護知識向上 災害時の役割分担を決める 防犯に努める	地域でできる冬期間の生活環境の整備
7	募る		活動資金の確保	助成金・補助金等の情報提供 補助金の使途の緩和の働きかけ ケアマネの育成		助成等の情報のキャッチと住民同士で共有 共同募金の主旨を理解し、積極的な募金に協力する	
8	その他	地域の魅力発信	リハビリ系施設・専門職の拡充	行政の働きかけ 職員研修の充実			若者が残る地域づくり

箱（取組項目）	
1. つかむ・とらえる	ニーズキャッチ、相談 など
2. 伝える	情報提供、意識啓発 など
3. 交わる	地域交流、多世代交流、社会参加、福祉教育 など
4. つながる	ネットワーク、連携・協働 など
5. 支える	人材育成・発掘、生活支援（見守り、ゴミ出し、移動、買い物）、ボランティア活動、防災 など
6. 護る	人権、権利擁護、差別偏見解消、虐待防止 など
7. 募る	寄附文化の創造、活動財源の確保 など
8. その他	